

中村屋サロン美術館 開館記念特別展  
中村屋サロン — ここで生まれた、ここから生まれた —



萩原守衛「女」(部分)



中村 舜「少女」(部分) 1914年

Born Here, Yet to Be Born Here:  
A special exhibition commemorating the opening of the Nakamura Salon Museum of Art

2014年10月29日(水) ~ 2015年2月15日(日)

主催：中村屋サロン美術館 特別協力：公益財団法人 礪山美術館

中村屋サロン 美術館

NAKAMURAYA SALON Museum of Art



イメージ図



ロダンの弟子 荻原守衛、  
洋画の鬼才 中村彝、  
彫刻家 高村光太郎、  
書家・美術史家 會津八一……。

明治末から昭和初期にかけて、  
新宿中村屋を舞台に優れた作品を  
生み出した芸術家たち。  
そして今、文化芸術を育んだこの地に、  
新たな美術館が誕生します。



高村光太郎「自画像」1913年



中村 彝「麦藁帽子の自画像」1911年



高藤与里「法々華経」1909年 碌山美術館蔵



荻原守衛「女」



中村 彝「少女」1914年



柳 敬助「自画像」  
1910年 碌山美術館蔵



中村不折  
「始制文字の下図」



保田龍門「裸婦立像」  
1927年 碌山美術館蔵



荻原守衛「坑夫」



戸張孤雁「足芸」  
1914年 碌山美術館蔵



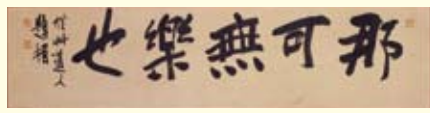
中原悌二郎「若きカフカス」  
1919年 碌山美術館蔵



中村 彝「牛乳瓶のある静物」  
1912年頃



會津八一  
「双幅：林下十年夢・湖邊一笑新」  
1949年



會津八一「那可無樂也」1949年

中村屋は1901年、文京区本郷に創業し、1909年に本店を新宿の現在地に移しました。創業者である相馬愛蔵・黒光夫妻は明治末から大正、昭和初期にかけて、ここで多くの芸術家・文化人を支援しました。新宿中村屋本店には、彫刻家の荻原守衛(碌山)や画家の中村彝、書家・美術史家の會津八一らが集い、刺激を受け、切磋琢磨することで芸術を開花させていきました。その様子は後にヨーロッパのサロンに例えられ、「中村屋サロン」として、日本近代美術史にその名を刻むとともに、中村屋に芸術・文化の薫りを添えました。このたび本店ビルの建て替えにあたり、その歴史を大切にしつつ、新しい芸術・文化支援を実践していくため、中村屋サロン発祥のこの地に美術館を開設いたします。

記念すべき第1回の展覧会は「中村屋サロン——ここで生まれた、ここから生まれた——」です。長野県安曇野市の碌山美術館をはじめ、関係する皆様のご協力を賜り、中村屋サロンが生まれたまさにこの場所に中村屋サロンに集った芸術家の作品を集め、作品やそれにつながるエピソードを紹介しながら芸術家同志の交流や芸術観を浮き彫りにしていきます。当時に思いを馳せ、明治末から大正・昭和に活躍した芸術家たちの息吹を感じていただければ幸いです。

◎ 開館記念講演会 190名募集 (抽選) (入場無料 ただし入場券またはその半券の呈示要)

「中村屋サロンの芸術家たち」高階秀爾(東京大学名誉教授 文化勲章受章者 大原美術館館長、新宿区名誉区民)  
2014年12月1日(月) 18時～19時30分  
新宿文化センターホール (東京メトロ副都心線・都営大江戸線東新宿駅A3出口より徒歩5分)  
ご希望の方は往復ハガキに〒住所・氏名・年齢・電話番号・人数(2名まで)を明記の上、11月10日必着で下記へご応募ください。 ※当日、美術館の入場券またはその半券と受講票をお持ちください。  
〒107-0062 港区南青山2-18-20 南青山コンパウンド502 中村屋サロン美術館講演会係

# 中村屋サロン 美術館

NAKAMURAYA SALON Museum of Art

東京都新宿区新宿3丁目26番13号 新宿中村屋ビル3階  
JR新宿駅東口から徒歩2分、東京メトロ丸の内線新宿駅A6出口直結

開館時間 10:30～19:00 (入館は18:40まで)  
休館日 毎週火曜日(火曜が祝祭日の場合は開館、翌日休館)、1月1日  
入館料 一般 300円 \*高校生以下、障害者手帳をご呈示のお客様、およびその介護者(1名)は無料です。  
ホームページ <http://www.nakamuraya.co.jp/museum/> (10/3 公開予定)

